



# 岐阜大学機関リポジトリ

## Gifu University Institutional Repository

Title	「丁寧」は/te:ne:/か\teinei/か : アンケート調査の結果から
Author(s)	橋本, 慎吾
Citation	[岐阜大学留学生センター紀要 = Bulletin of the International Student Center Gifu University] no.[2005] p.[3]-[12]
Issue Date	2006-03
Rights	
Version	岐阜大学留学生センター (The International Student Center Gifu University)
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12099/22216">http://hdl.handle.net/20.500.12099/22216</a>

この資料の著作権は、各資料の著者・学協会・出版社等に帰属します。

# 「丁寧」は /te:ne:/ か /teinei/ か

～アンケート調査の結果から～

Which do the Japanese People Pronounce Written "EI", /e:/ or /ei/ ～

橋本 慎吾

## 要旨

/e:/の表記は「えい」であるが、これを /ei/ と発音することがある。その頻度を調べるため、101名にアンケートを行なった。その結果、次の5つが明らかになった。(1) /ei/ と発音すると答えた人の割合は平均35.4% (2) 個々の話者は語によって /ei/ と発音したり /e:/ と発音したりしている (3) 外来語は表記と発音に関連がある (4) 語頭に「えい」が来る単語は /ei/ と発音される割合が低い (5) 前後に「えい」をもつ4拍語は、語頭の「えい」を /ei/ と発音する傾向がある。(6) 発音の傾向と単語頻度との間に関係性は見られなかった。

## 1. はじめに：「表記どおり発音」という現象

日本語の長母音ひらがな表記には次のような規則がある。

[e:] は2種類の表記がある。  
 (a) 「えい」 せんせい  
 (b) 同じ母音を重ねる おねえさん

この2種類の表記はいずれも /e:/ と発音されることになっている。ところが、「えい」という表記が、/e:/ ではなく、表記どおりに /ei/ と発音される場合がある。この現象は外来語でよく見られる。例えば「メイク」と「メイク」などのように、もともとの英語の発音に忠実に表記するかどうかで揺れが見られ、またどちらの表記を採用するかによって発音にも揺れが見られる。また、CDを再生する「プレーヤー」と、ゲームの「プレイヤー」のように、表記・発音の違いが語意の違いとなっている場合もある。ただしこの揺れは、「ゲーム」が「ゲイム」と表記・発音されることはないように、全ての語に生じているわけではない。

この現象は原語発音の反映を踏まえた「サークルケイ」「ジェイアール」などの外来語・カタカナ言葉だけに現れるものではない。以下の例は2005年10月に採取した、テレビで「表記どおり」に発音されているものである。

- ・「ご利用は計画的に」の「けいかく」(消費者金融のTVCM)
- ・「資生堂」の「しせい」(TVの提供ナレーション)
- ・「世界の平和を守るため」の「へいわ」(『ポケットモンスター』のセリフ)
- ・「大同生命」の「せい・めい」(TVCMのサウンドロゴ)
- ・「色取りもきれい」の「きれい」(料理番組のナレーション)

これらの例では /e:/ではなく /ei/と発音されている。

筆者がこの発音に初めて遭遇したのは1998年であった。この年に行なった録音実験において、「せんせい」「うでどけい」と書いたカードを日本語話者に読んでもらった際に、表記どおりに /ei/と読んだ話者がおり、初めてこの現象に遭遇した。

例えば、一文字ずつ区切って発音する場合に（「せ・ん・せ・い」のように）表記どおりの発音が現れても不思議ではない。しかし、普通に読んだ際に「せんせい」を /sense:/ではなく /sensei/と発音することは、従来の表記発音規則に反していることになる。

規則の違反が生じているということは、当初守られていた規則に違反する例が増えてきていることになるので、この現象は世代差があることが予想される。一例として、2005年10月15日放送のTBSのニュース番組（ブロードキャスター）で放送された記者会見の中で、「業務提携」の「ていけい」の発音が、昭和15年生まれのTBS社長（/te:ke:/と発音）と昭和40年生まれの楽天社長（/teike:/と発音）と異なっていたことを挙げておきたい。

この例ではもう一つ興味深い点が観察できる。それは、楽天社長の発音が「ていけい」の両方を表記どおりに発音したのではなく、「てい」を /tei/、「けい」を /ke:/と発音していることである。表記どおりの発音がすべてに適応されるわけではないことが考えられる。

2005年の時点で、この「表記どおり発音」現象が以前に比べ多く見られるようになったと筆者には感じられる。ではこの現象はどの程度の広がりをみせているのか。それを検証するために、アンケート調査を行なった。本稿ではその結果を報告する。

## 2. 先行研究

### 2.1 仮名遣いについて

長音表記について、昭和21年（1956年）内閣訓令第8号「現代かなづかい」では、

- |    |                           |
|----|---------------------------|
| 第一 | ア列の長音は、ア列の仮名に [あ] をつけて書く。 |
| 第二 | イ列の長音は、イ列の仮名に [い] をつけて書く。 |
| 第三 | ウ列の長音は、ウ列の仮名に [う] をつけて書く。 |
| 第四 | エ列の長音は、エ列の仮名に [え] をつけて書く。 |
| 第五 | オ列の長音は、オ列の仮名に [う] をつけて書く。 |

とのみ書かれている。この長音表記は、昭和61年（1986年）内閣告示「現代仮名遣い」において次のような「付記」がつけられた。

#### 付記

次のような語は、エ列の長音として発音されるか、エイ、ケイなどのように発音されるかにかかわらず、エ列の仮名に「い」を添えて書く。

- |   |          |       |         |         |         |
|---|----------|-------|---------|---------|---------|
| 例 | かれい      | せい（背） | かせいで（稼） | まねいて（招） | 春めいて    |
|   | へい（塀）    | めい（銘） | れい（例）   | えいが（映画） | とけい（時計） |
|   | ていねい（丁寧） |       |         |         |         |

つまり、正書法として「エ列の仮名に「い」を添えて書く」が加えられたのであるが、発音の仕方はエ列長音に限定していない。

実は上記の昭和 21 年内閣訓令以前に、この「エ列の仮名に「い」を添えて書く」という表記発音法は既に存在していた。大西（1942）によると、「國民學校の教育では、國語の二重母音 [e:] を判然と禁止して劃一的に [e:] 一本槍でなければならぬと指示されてゐる」(p.5) とあり、具体的には『ヨミカタ』『ウタノホン』教師用に次のような指示があるという。

「ヘイタイ」は「ヘータイ」と發音する  
 「センセイ」の「セイ」は「セー」と發音する  
 「イ」によつてあらはされるエ列長音、例へば「テイ」「ケイ」「セイ」等、すべて「テー」「ケー」「セー」と發音させることにつとめる  
 . . . . .

つまりこの表記発音法は教育によって普及したと考えられる。

## 2.2 実際の発音

では実際に「えい」という表記はどのように発音されるのか。

実際の発音について、前出の大西（1942）によると、「東京人の日常會話では、キレイはキレーであり、ヘイタイはヘータイである。しかし、之らも改まつた場合の發音とか多くの漢字熟語では、假名遣の通り [e:] である」(p.5) となっている。同様の指摘は最近にもあり、今田（1981）、猪塚（2003）は、改まった感じや莊嚴さなどをもたらすため、教会の説教や芝居などで「えい」を /ei/ と發音することがあると指摘している。

また今田（1981）は、「一方、最近の傾向として、若い人の間では、正書法の影響からか「えい」[ei]、「おう」[ow] が増えつつあるとも聞く。」(p.79) と述べており、20 年以上前から表記どおりに發音する傾向が増え始めていたことが分かる。

川上（1977）は語による相違について述べ、「技芸・送迎」に比べ「かくし芸」は /ei/ と發音されにくい、「幣」は /hei/、「塀」は /he:/ と發音される、などの指摘をしている。(p.78-79)

最近の研究では岡田（2004）が「話し言葉コーパス」に見られる外来語の「エイ」の發音バリエーションについて調べており、次のような結果を示した。

- (1) 基本的には [e:] で実現される
- (2) ただし、以下のような場合、[ei] で実現される可能性が高くなる
  - i) アルファベットの「H」の場合
  - ii) 日本語の語彙体系への定着度・なじみ度が（比較的）低いと想定される場合
  - iii) 母音連続 /ei/ に撥音 /N/ が後続する外来語の場合 (p.39)

外来語についてはこのような定量的研究があるが、漢語などについてはまだ行なわれていない。

## 3. アンケート

今回、日本語話者が「えい」をどのように發音しているかを調査するために、アンケート調査を実施した。筆記による回答なので、今回の調査は内省に基づいた意識調査であり、実際にどう發音

しているかを保証するものではない。しかしながら、この発音についてどのような意識を持っているかを知る手がかりになると考えられる。

### 3.1. 調査使用語

#### 3.1.1 漢語

調査使用語は、エ段すべてに「い」をつけた「えい、けい、せい、てい、ねい、へい、めい、れい、げい、ぜい、でい、べい、ぺい」が (1) 語頭にある (2) 語末にある (3) 語頭語末の両方にある の3つに分類し、(2) については4拍語と3拍語に分類し、それぞれに該当する語を選定した。空欄になっているところは、適当な語が見つからなかった部分である。また (3) は語数が少ないので、「けいれい」を加えた。

表1 調査使用語

	(1) 語頭	(2) 語末		(3) 語頭語末
		語頭1拍	語頭2拍	
えい	えいが (映画)	ごえい (護衛)	さつえい (撮影)	えいせい (衛星)
けい	けいかく (計画)	かけい (家計)	かんけい (関係)	けいせい (形成)
せい	せいかく (正確)	いせい (異性)	かんせい (完成)	せいせい (精鋭)
てい	ていこく (定刻)	かてい (家庭)	かんてい (鑑定)	ていねい (丁寧)
ねい				
へい	へいたい (兵隊)	しへい (紙幣)	すいへい (水平)	へいせい (平成)
めい	めいかい (明解)	しめい (氏名)	かくめい (革命)	めいれい (命令)
れい	れいだい (例題)	きれい (綺麗)	せんれい (洗礼)	れいせい (冷静)
げい	げいじゅつ (芸術)	ほげい (捕鯨)	かんげい (歓迎)	
ぜい	ぜいたく (贅沢)	かぜい (課税)	かんぜい (関税)	
でい	でいすい (泥酔)	おでい (汚泥)		
べい	べいこく (米国)	とべい (渡米)	なんべい (南米)	えいべい (英米)
ぺい			いんぺい (隠蔽)	
けい/れい				けいれい (敬礼)

なお、調査では、上記の語を漢字に直し、ランダムに並べ替えて示した。

#### 3.2.2 外来語

表記傾向に基づいて、次の11語を選んだ。

(1) 表記が「エイ」となっているもの

ジェイソン、ネイルアート、ベイブリッジ、トゥデイ

(2) 表記が「エー」となっているもの

エッセー、レーザー、デート、グレー

(3) カタカナ表記されないことが多いもの

エービーシー (ABC)、ケーワン (K-1)、オッケー (OK)

### 3.2. 方法

調査では、漢語と外来語に分けてアンケートを実施した。

#### 3.2.1 漢語

(1) 語を見て、/ei/ と発音するか、/e:/ と発音するかを判断する

どちらか一方を選択。どちらも発音する場合は両方に○し、多く発音するほうに◎するよう求めた。

(2) 「英米 (えいべい)」など、前後に「えい」を有する語は、(a) どちらも /ei/、(b) 前だけ /ei/ (つまり /eibe:/ と発音する)、(c) 後ろだけ /ei/ (つまり /e:bei/ と発音する)、(d) どちらも /e:/ の4つの選択肢から一つを選択。

#### 3.2.2 外来語

外来語については、「表記」と「発音」にわけ、その単語を表記するとき「エイ」と表記するか「エー」と表記するか、発音するときは /ei/ と発音するか、/e:/ と発音するかを判断してもらった。

#### 3.2.3 調査対象

今回、101人の方に調査を実施した。内訳は10代(18・19歳)16名、20代62名、30代22名、40歳以上1名であった。

## 4. 結果・考察

### 4.1 全体的傾向

まず、3.2で説明したどの項目についても、/ei/ と発音すると答えた人の割合を算出した。表とグラフを以下に示す。

表2 /ei/ と発音すると答えた人の割合 (%)

	発音 ei		発音 ei		発音 ei
ジェーソン	78.2	定刻	38.6	命令	29.7
ネールアート	76.2	護衛	37.6	明解	28.7
ベープブリッジ	74.3	家計	37.6	兵隊	27.7
精鋭	68.3	冷静	37.6	関係	25.7
トゥデー	57.4	正確	35.6	水平	25.7
丁寧	53.5	エッセー	34.7	泥酔	22.8
汚泥	52.5	米国	34.7	例題	21.8
敬礼	49.5	異性	34.7	芸術	21.8
革命	47.5	衛星	34.7	南米	21.8
隠蔽	45.5	歓迎	33.7	計画	20.8
捕鯨	44.6	関税	33.7	エービーシー	18.8

英米	44.6	平成	33.7	映画	14.9
氏名	43.6	家庭	32.7	ケーワン	13.9
形成	41.6	紙幣	32.7	レーザー	11.9
洗礼	40.6	完成	30.7	グレー	9.9
撮影	39.6	贅沢	29.7	オッケー	8.9
課税	39.6	鑑定	29.7	デート	2
渡米	39.6	綺麗	29.7		
				平均	35.4

平均35.4%という数字の意味は年代別の比較などを行わないと正確に捉えることはできないが、「現代仮名遣い」の規則が守られているかどうかで考えると、35.4%の割合で守られていないことになる。

図1は、[ei]と発音すると答えた単語の割合を101名の話者ごとに算出し、昇順に並べたものである。

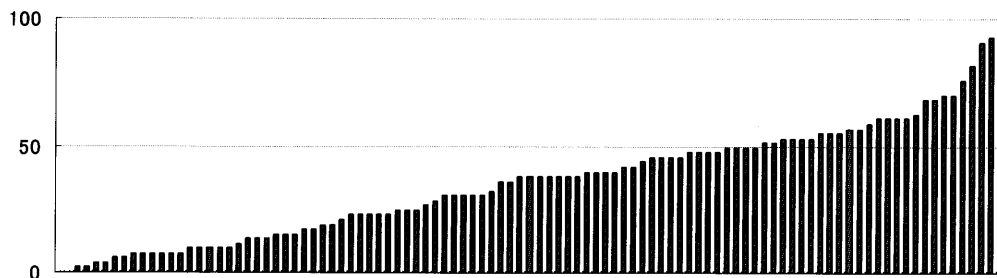


図1 ひとりの話者が /ei/ と発音する単語の割合 (%)

当初筆者は、一人の話者はすべての単語を /e:/ と発音する、すべてを /ei/ と発音する、の2つに分かれると予想していた。確かにそのように答える話者もいたが、今回の101人の割合を見ると、むしろ2つの発音のいずれも発音している話者が大多数であることが分かる。言い換えれば、語によって /e:/ と発音したり /ei/ と発音したりしているということになる。

ではどのような語が /ei/ と発音される傾向にあるのか。図2に語別の割合を示す。以下、外来語、漢語の順に傾向を分析する。

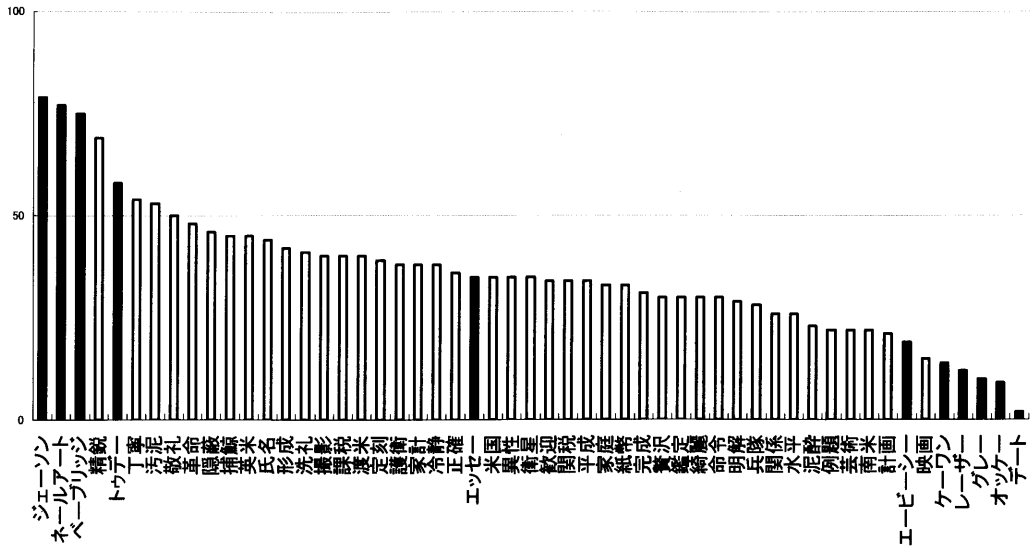


図2 /ei/と発音すると答えた人の割合 (%)

黒：外来語 白：漢語

#### 4.2. 外来語の傾向

まず外来語の傾向について述べる。図2の黒棒が外来語を示す。これを見ると、外来語は、/ei/と発音するものとしめないものにくっきりと分かれていることが分かる。ちなみに真ん中の黒棒は「エッセー」である。上位には「ジェイソン」「ペイブリッジ」などがある。

外来語について、表記と発音の関係について整理したグラフを図3に示す。

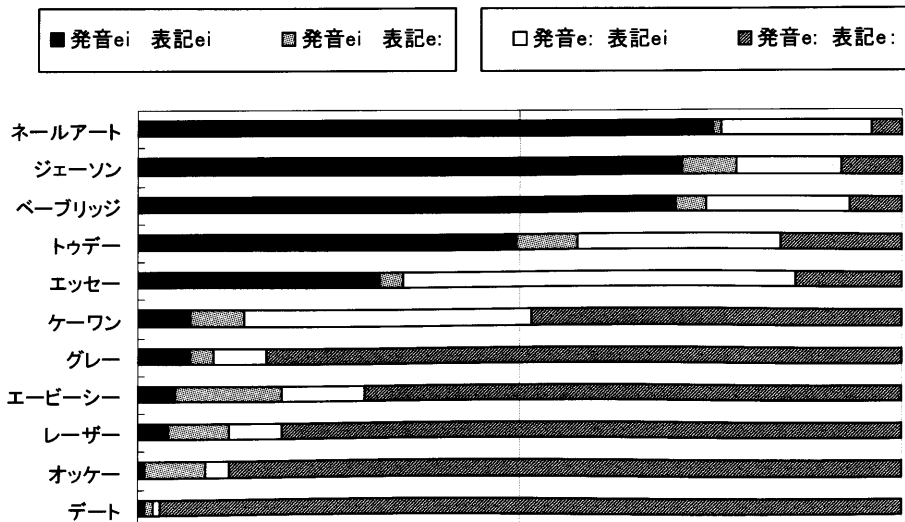


図3 外来語の表記と発音の関係



このグラフは、発音と表記のアンケート結果を合わせて示したものである。例えば黒の部分は「発音は /ei/ で表記は「エイ」」、つまり発音と表記が一致していることを示している。図 2 を見ると、発音と表記は概ね一致していることが分かる。例えば「ネールアート」は「ネイルアート」と表記し、/ei/ と発音するとする答えが一番多い。/e:/ でも、「デート」のように、「デート」と表記し、/e:/ と発音するという答えが一番多いことが分かる。

このことから外来語は、「エイ」と表記されている単語を /ei/ と発音する傾向があることがわかる。外来語の表記では長母音はどの母音も「ー」で表すことになっており、それをわざわざ「ネイルアート」と「イ」を使って表記していることで特別な発音を要求していることになるからではないかと考えられる。

興味深いのは「エッセイ」である。この単語は、図 2 の白と黒の部分の割合がほぼ等しいことから、表記は「エッセイ」であるが発音は /ei/ と /e:/ で揺れていることがわかる。つまり表記は概ね一つに決まっているが、実際の発音は揺れているということになる。このような結果になった語がこの 1 例のみであることから、外来語における表記の強制力がうかがえる。

#### 4.3. 漢語の傾向

次に漢語であるが、「精鋭」が 68% と高いことを除くと、平均 35.4% ± 15% にだいたい収まっている。傾向としては、「汚泥」「革命」など、口にする機会の少ない単語は [ei] と発音されていると言えそうである。以下、詳しく見ていくことにする。

表 3 /ei/ の子音別割合

	えい	けい	せい	てい	ねい	へい	めい	れい	げい	ぜい	でい	べい	ぺい
子音別平均	40	31	39.6	38.6	*	30	37.4	34.8	33.4	34.3	37.7	35.2	45.5

表 3 は、/ei/ と発音すると答えた人の割合を子音別に整理したものである。「ねい」は該当語が「ていねい」のみなので省いた。この結果を見ると、「ぺい」の割合が高いことを除くと子音間に大きな差は見られない。

次に位置によって整理した結果を表 4 に示す。これを見ると、語頭の位置に「エイ」が来る単語における /ei/ の割合が比較的低いことが分かる。

表 4 /ei/ の位置別割合

語頭	語末		語頭語末
	語頭 1 拍	語頭 2 拍	
27	38.6	34	43

図 4 は、前と後に「えい」を持つ 4 拍単語の発音に関する結果である。

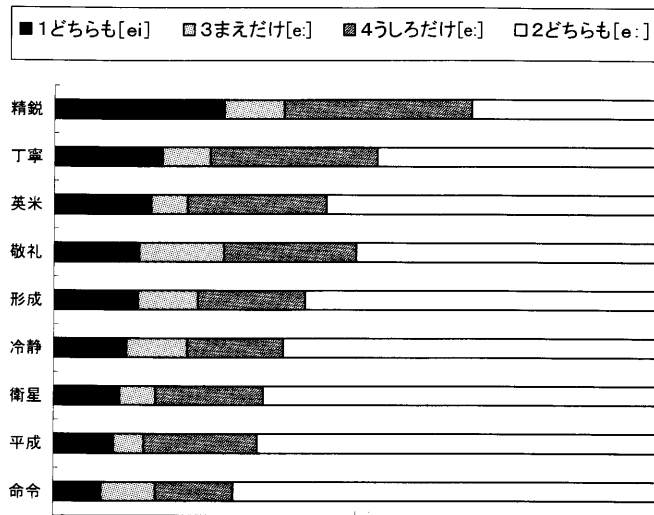


図4 位置による分析（4拍単語）

図4を見ると、「精鋭」を除く8単語のいずれも「どちらも /e:/ と発音する」という答えが一番割合が高く、ついで「後だけ /e:/（前は /ei/）」、「どちらも /ei/」「前だけ /e:/（後は /ei/）」の順になっている。「丁寧」を例にすると、テーネー /te:ne:/、テイネー /teine:/、テイネイ /teinei/、テーネイ /te:nei/ の順になる。この場合は語頭の「エイ」を /ei/ と発音する傾向があるということである。

#### 4.4. 使用頻度との関係

最後に、発音と語の使用頻度の関係を見る。

4.1の図2に示した「/ei/ と発音すると答えた人の割合」に語の使用頻度を重ねたものである。使用頻度はNTTデータベース『日本語の語彙特性』収録の単語頻度データベースを使用した。これは1985年から1998年までの朝日新聞紙面掲載数である。グラフでは1500件を上限として頻度を示している。

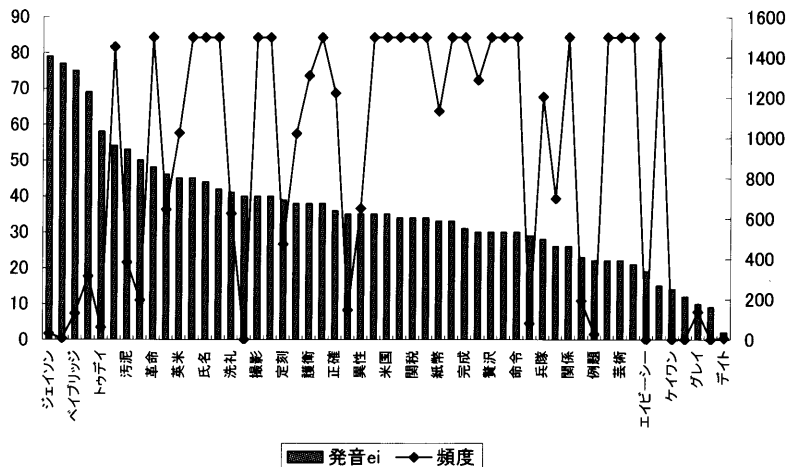


図5 /ei/ 発音と単語頻度の関係

この図5を見る限り、単語頻度は発音の傾向には関係していないことが分かる。

## 5. まとめ

今回の調査から、次の点が明らかになった。

- (1) /ei/ と発音すると答えた人の割合は、平均 35.4% であった
- (2) 個々の話者は語によって /ei/ と発音したり /e:/ と発音したりしている。
- (3) 外来語は、「エイ」と表記される単語は /ei/ と発音され、「エー」と表記される単語は /e:/ と発音される
- (4) 語頭に「えい」が来る単語（「映画」など）は /ei/ と発音される割合が低い
- (5) 前後に「エイ」をもつ4拍語（「丁寧」など）は、テーネー /te:ne:/、テイネー /teine:/、テイネイ /teinei/、テーネイ /te:nei/ の順に割合が高い。
- (6) 発音の傾向と単語頻度との間に関係性は見られなかった。

先にも述べたように、今回の調査は内省によるもので、実際にどのように発音されているかは保証の限りではない。また、その語を発する場による違いや、会話と朗読での違いなども考えられる。今後は実際の発音に関する資料を集め、さらに分析を進めていきたいと考える。

## 参考文献

- 猪塚元（2003）『日本語の音声入門』、バベルプレス
- 今田滋子（1981）『教師用日本語教育ハンドブック⑥ 発音』、国際交流基金
- 大西雅雄（1942）「[エイ] か [エー] か」、音声学協会会報 71号、5-6 ページ
- 岡田祥平（2004）「『日本語話し言葉コーパス』に観察される母音連続 /ei/ のバリエーション — 外来語の場合」、信学技報 SP2004-25、35-40 ページ
- 川上藁（1977）『日本語音声概説』、おうふう
- 内閣訓令第8号「現代かなづかい」（昭和21年（1956年））
- 内閣告示 現代仮名遣い（昭和61年（1986年））
- 天野成昭、近藤公久（2000）『日本語の語彙特性 第2期』第7巻、NTT データベースシリーズ、三省堂